

問 14 若者の投票意欲を高める方法

若年層に投票のインセンティブを与えるか、票の重みを変える。例えば現役世代の票を 1 とした場合、高齢者は 0.5 としてカウントするなど。

(25～29 歳 女性)

そもそもマスメディア含めてちゃんと報じていないこと、主権者としての行動を学習する機会もないことが大きいと思う

(25～29 歳 男性)

投票を義務化する投票することで即時メリットになる特典をつける

(20～24 歳 女性)

若者が生きていけないくらいの危機に瀕する。

(25～29 歳 男性)

住民票を移すように呼びかける。

(20～24 歳 男性)

幼少期からの政治へ触れる

(25～29 歳 男性)

オンライン化

(25～29 歳 男性)

マイナンバー等を用いてネット投票を実現すれば投票率は上がる。

(25～29 歳 男性)

クーポンなど

(25～29 歳 男性)

投票したら税金優遇

(25～29 歳 男性)

施策打つ必要無し。投票しないのも自由。

(25～29 歳 男性)

有権者の年齢比を示しては

(25～29 歳 男性)

都合良く騙されてることに気がつく時

(25～29 歳)

・ネット投票の解禁・投票によるインセンティブ付与

(25～29 歳 男性)

・ネット選挙の導入・国政への被選挙権の年齢を引き下げること・議員の定年制導入・クォーター制の導入

(25～29 歳 男性)

2票くれとは言わない。ただ、年金をもらい始めた、判断能力の落ちたような人たちの選挙権を剥奪して、若者や未来を考える層の票の価値が高まればいいと思う。今は若者の力が小さすぎる様に感じる。

(25～29 歳 男性)

ネットで投票できるようにすればいいと思う

(25～29 歳 男性)

仕事などに追われ投票に行く時間がない人が多いため、駅などより身近な場所で期日前投票や、場所にとらわれずマイナンバーカードなどを活用してスマホから投票できるようにしても良いと思う。

(25～29 歳 男性)

税金を現金支払いにして自分で銀行または、役職に毎月払うようにする会社員も個人・個人事業主も関係なく一律に

(25～29 歳)

もっといい政策を行うこと

(25～29 歳 男性)

参政権の上限年齢を策定し若者の票で政治が動くようにする

(20～24 歳)

わざわざ投票所に行かせるシステムが良くない。

(25～29 歳 男性)

1票の差別化（若い人の1票が2票分なる）

(25～29 歳 男性)

透明化

(25～29 歳 男性)

SNS と提携する

(25～29 歳 男性)

インターネット投票の導入

(25～29 歳 男性)

ネット投票を可能にする

(25～29 歳 男性)

無能な政治家を排除すること

(25～29 歳 男性)

老人に対する政策だけでなく、もっと若者に対する政策を増やしてやる

(20～24 歳 女性)

投票するとメリットが得られるようにする(デジタルクーポンなど)。

(20～24 歳 男性)

若者は言っても無駄だからと短期的な効果を欲してしまうからその考え方を変えていく

(25～29 歳 男性)

選挙権を持つ年齢以前から政治に対する関心を持てるよう教育していく必要がある。義務教育の中で触れる機会。

(25～29 歳 男性)

それがわかんないから低いんだろ

(20～24 歳 男性)

トランプやドゥテルテのような奇抜でぶっ飛んだ政治家が出るか頭脳明晰で本気で国を変えたいと思う若者が政治家にならない限り無理だと思う。

(20～24 歳 男性)

金券

(20～24 歳 男性)

投票のハードルを下げるためにインターネットで投票できるうよにする

(25～29 歳 男性)

若者の投票の価値を上げる。1 人一票は各世代間の人口が違うので不平等である。

(25～29 歳 男性)

オンラインで投票できる仕組みがあればある程度改善できると思う

(25～29 歳 男性)

今の選挙はかたい感じなのでもう少し若者が投票に対して気軽にいける感じにすれば良いと思う。投票所を若者が集まる所に設置しつつで感覚でいける感じにするとか

(20～24 歳 男性)

政治への不信感の解消個人の意思でなく派閥の意思を重んじる体制の撤廃

(25～29 歳 男性)

若い人向けの政策をしっかりと示す(鶏卵論にしないで政治家が動く)

(25～29 歳 男性)

若い世代に向けて政治に関する情報発信

(25～29 歳 女性)

期日前投票の時間をのばす等、働きながらでも投票に行きやすい環境を作るそもそもの労働時間の上限を 8 時間ではなく 6 時間に短縮する等、働き方を大きく改革する

(25～29 歳 女性)

WEB での投票を受け付ける

(25～29 歳 女性)

為政者が不正を行えない仕組みを即時に強化し、旧来的な家父長制に基づく社会構成からいち早く抜け出す

(25～29 歳 男性)

行かなきゃ罰金、そのためのマイナンバーカードじゃないか、利用することができるのではないか

(25～29 歳 女性)

分からない。

(20～24 歳 男性)

高齢者を除いた若者のみのインターネット投票の解禁

(25～29 歳 男性)

党や個人ではなく政策への投票へと変わることを

(20～24 歳 男性)

高齢者の多さに負ける。投票しても若者を尊重した施策が通らないから。絶望感が強い。

(25～29 歳 女性)

政治的主張をすることへの忌避感を取り払うため、義務教育から有権者教育を強化し、メディアの萎縮・忖度による、政治報道への姿勢を改めさせる為、クロスオーナーシップを廃止し、放送資格を総務省ではない第三者機関に管理させ、記者クラブを廃止などを行う。

(18～19歳 男性)

特典や魅力を伝える

(18～19歳 男性)

ポイントをあげる

(25～29歳 男性)

YouTube shorts や Tiktok などの媒体で、若者に人気のインフルエンサーを起用し、丁寧で、分かりやすく、キャッチーな動画を投稿するなどすれば、投票率には影響があると思います。

(25～29歳 男性)

メディアの情報操作もあるので難しいですが、発信力とそれに伴う実行力がある方がもっと出てくればいいなと思います

(25～29歳 男性)

期日前投票所が少ないので、もっと便利になるとよい。最寄りの投票所に比べて期日前投票所が遠いので、いつも当日投票しているが、当日の天気によって行かない可能性もある。期日前投票所への臨時の公共交通機関があるとよいのではないかな

(25～29歳 男性)

デジタル技術で、身分証さえあればどこでも投票できるとか、駅や商業施設に投票所を増やすとか、究極的にはネット投票を解禁するなど、ハードルを下げるのが先決と考える。

(25～29歳 男性)

政権選択を有権者が行えるという、有効性感覚を醸成する。

(25～29歳 男性)

いい意味でメディアが危機感を煽る

(25～29歳 男性)

投票所で一律のサービスを提供する

(18～19歳 男性)

ネットでの投票を解禁すべき。

(25～29歳 女性)

不信感の政治家が出てくる必要がある。汚職や過去の実績がないなどの政治家は不要。
(25～29 歳)

若者が豊かになる政策をあげて、投票するメリットを明確にする
(25～29 歳 男性)

もっともっと景気が悪くなりどうしようもなくなると変わることはない。
(25～29 歳 男性)

ない。高齢者の人数が多く、立ち向かうことは不可能。
(25～29 歳)

利権のしがらみなく、日本の将来を真剣に考える政治家が増えること
(20～24 歳 男性)

ネット投票
(25～29 歳 男性)

選挙後、目に見えた変化が現れるなら意欲は高まると思う
(25～29 歳 男性)

学生時代から政治について考えを話す場を待っていたらと思います。
(25～29 歳 女性)

大学で政治家による討論会を開催する
(25～29 歳 男性)

SNS を利用した情報発信、議論の様子、その議員の活躍に期待できる理由のわかる資料を提供していくことだと思います。
(25～29 歳 女性)

なにかしら特典を付与する例えば選挙参加で税率を安くする宝くじを配布する
(25～29 歳 女性)

投票を義務化する
(25～29 歳 男性)

普通選挙の場合人口比率的に老人が強くなってしまいうためシステムの見直し
(25～29 歳 男性)

極端ですが、高齢者と若者の票に格差を付けることで意欲が高まると思われます。高齢者の方の人数が若者より多いため若者の意見が通りづらい環境です。その為、1票の格差を明確にすることが一番の改善策となるのではないかと考えます。

(20～24歳 男性)

不可能。若者の投票率がいくら高くなっても老人のほうが数が多いため、票を集めるために必然的に老人向けの政策が取られるため。

(20～24歳 男性)

インターネットで候補者や投票が可能になることで高められると思う。

(25～29歳 男性)

SNSやYouTubeなどを使い、全ての候補者が平等に政策や今の政治の問題点を挙げれる環境づくりが重要だと思う

(25～29歳 男性)

義務化

(20～24歳 男性)

国会議員の定年制古い議員を一掃し、これからの未来を生きる世代が社会を作っていく実感が持てると思います

(25～29歳 男性)

学校教育に選挙や政治家でどう国が変わるのか、実際に票が国政に影響するのかなど具体性のある政治の話をとりに入れるべき。

(18～19歳 男性)

そもそも政治や選挙に対する教育が少ない。一般の人が興味を持つ機会が少ない。スウェーデンでは高校で擬似選挙が行われたり実際の立候補者が演説に訪れたりする機会がある。

(25～29歳 女性)

議員や大臣の仕事がわかりにくく、選んだ人がどのようなことをしているかをメディアや各議員がわかりやすく発信する。企業や家庭などのコミュニティで投票を啓発する。天気が悪いと投票率が下がったりするので、送迎をして投票所へ楽に行けるようにする。など

(20～24歳 男性)

投票した人に特典を上げる。(温泉無料、博物館入場無料)

(25～29歳 男性)

政治家にも定年退職年齢を設ける。交通の利便性があり、24時間投票できる会場を複数置く。

(25～29歳 女性)

選挙に行くメリットを明確につける（行った回数に応じて記念品、減税するための証明書発行）。少子化であるため、若年層の一票の価値を上昇させる。選挙行かないデメリット作る（増税など）

（20～24歳 男性）

老人が多すぎて若者が全員投票に行ったとしても勝てない若者の投票価値を老人の倍にする等して世代間格差をなくす必要がある

（25～29歳 男性）

若者の芽を奪いにきてる

（25～29歳 女性）

インターネットでの投票により手軽になれば投票率が上がるかと思います

（25～29歳 女性）

若い人たちが投票に行って良かったと思える政策を打つこと。

（25～29歳 女性）

食事券を配る選挙に行った人は買い物が安くなる

（25～29歳 女性）

投票行為へのインセンティブ付与

（25～29歳 男性）

目の前の生活など近視眼的では無く、ある程度長期的視野を持って地震や未来について考えるような教育と生活のゆとりが必要なのでは無いか

（25～29歳 男性）

今の政治のようなめっちゃくちゃなことをし続ける。例えば高齢者や外国人ばかりの優遇など。「政治が自分に実害がある」と思わないと投票しないと思う

（20～24歳 女性）

ネット投票。これに尽きると思います。選挙カーや、掲示板、お金がかかる、候補者の公約などがぱっとわかりにくい、など含めて今までのやり方おかしいと思う政治家の方いないのでしょうか。また、わたしたちの意見がきちんと反映されたという体感が全くないことが原因だと思います。

（25～29歳 女性）

お年寄りの為の、政治ばかりなので、若者に利益のある政治をすればいいと思う子育てや医療関係など

（25～29歳 男性）

選挙権の年齢調整（上限）を定める年代ごとの人口比率で倍率を定める。

（25～29歳 男性）

若い人たちが投票を行っても、年寄り世代の人口が多いため、1票の重みが同じだと若い世代の意見は反映されない。そのため行く気が起きない。

（25～29歳 女性）

若者が投票したことで選挙結果が変わった事例がもっと増えること。

（25～29歳 男性）

老人世帯に媚びた政策を減らす。

（25～29歳 女性）

投票先がどこであれ、他者の考えを尊重し揶揄しない土壌を、社会として醸成していくこと。

（20～24歳 男性）

ネット投票

（25～29歳 女性）

憲法に関わる話であるが、一票あたりの重みづけを世代ごとに変化させるのが良いと考える。現在投票意欲が下がっているのは、年代別の人口比率から考えて若者の一票あたりの影響力が弱いことが大きな要因として考えられるから。この状況を是正し、世代ごとのまとまりで捉えた時の一票の価値が平等となるように、形式的には不平等となるような重みづけをすべきと考えた。

（25～29歳 女性）

WEB投票

（25～29歳 男性）

マイナンバーカードの認証機能を使い、本人確認したうえで、インターネット（スマホ）でも投票できるようにすると良いのではと思う。

（25～29歳 男性）

今回の選挙のように、いわゆる泡沫候補が渋谷など若者の多い場所で演説を行い、注目をひくこと。投票所に足を運ぶのも面白そうだと思うこと。

（25～29歳 男性）

高校や中学校、小学校からもっと政治に関する議論を行い、生徒たちが積極的に政治活動を行うことを奨励すべき

（20～24歳 女性）

生活の質が上がる政策をする賃金上昇、住宅取得支援、結婚支援

(25～29 歳 男性)

デジタル化すべし。若い人は日曜に予定を入れるので、選挙は後回しになる。スマホでできれば格段に投票率はあがる。そして、例えばイベントのチケット等の購入の条件に投票をしていることを証明するものが必要になればみんな投票に行く。絶対に。

(25～29 歳 男性)

政策

(25～29 歳 男性)

ブラジルのように投票義務化を行う、またはアメリカみたいに選挙自体を祭りのようにする。政祭の距離を現在より縮める必要がある。

(25～29 歳 男性)

そもそも若年人口が減少し高齢者が増加している中、若年層全員が投票に行ったとしても、高齢者全員が投票すれば若年層の票が高齢者を上回ることがないことに不公平を感じている。若年層の 1 票が高齢者の 1 票と同じ比率になると、自身の一票の重みを感じられる人が増えると思う。

(25～29 歳 女性)

政治をエンタメの一種だと思ってもらうようにする

(25～29 歳 男性)

本当に興味を持って物事に当たっているのか知る機会を増やす。

(20～24 歳 男性)

Vtuber やインフルエンサーとコラボして宣伝してもらったら？

(18～19 歳 女性)

選挙についての話を知り合い同士、もっとフランクに出来ると良い。平日に行けるようになるなど。

(25～29 歳 女性)

野党共闘により、十分競争力のある二番手をつくる。政治に緊張感が必要。

(25～29 歳 男性)

スマホにて投票できるようにしてください。他の国でもそうしています。わざわざ投票に行くために休日の時間を潰すというのは、これからの若者も絶対にしないと思う。スマホ投票であれば必ず若者の意見も取り入れられたいい結果に変わります。

(25～29 歳 男性)

勤務に追われないと選挙に関心が、湧く

(25～29 歳 男性)

若者のための政策

(25～29 歳 男性)

義務教育に政治の授業を盛り込む

(20～24 歳 男性)

ネットで投票できるようにする

(20～24 歳 女性)

インターネット投票を解禁する。

(25～29 歳 男性)

投票率の低さを数値として大々的に発信しないようにする。私立中高→国立大学と進学してきた私の周りには政治に対する参加意思がある人ばかりで、皆投票に行っているように感じるが、実際の投票率は低い。おそらく周りも投票しないから投票に行かないという層も広がっており、その層にアプローチするなら「みんな投票に行っている」と思わせることが効果的だと思う。

(20～24 歳 男性)

モバイル端末での投票を可能にする

(25～29 歳 男性)

大学や仕事などで投票所から離れた場所でも投票できるようにする

(25～29 歳 女性)

働いてない高齢者の選挙権を廃止にすべき数が違いすぎて選挙に行っても意見が反映されないのが目に見えているから

(20～24 歳 男性)

投票を義務化する

(25～29 歳 男性)

白票でも投票できることを発信する。

(20～24 歳 男性)

SNS 発信を増やし、政治に触れやすい環境をつくる

(20～24 歳 女性)

投票へ行かないことへのペナルティー？

(20～24 歳 男性)

地方議員をもっと知る事かと。メディアも国政や知事とか遠い存在ばかり取り上げ過ぎ。身近な政策は実は地方にある。

(25～29 歳 男性)

インターネット投票解禁若者に向けた政策を発信する

(25～29 歳 男性)

公約を全うする政治家が増えること。

(25～29 歳 男性)

(絶対に望まないが) 日本が戦時中のように混乱すれば必然と投票率は上がると考えられる。

(20～24 歳 男性)

ネット投票

(20～24 歳 男性)

金を配る

(25～29 歳 男性)

インターネット投票の導入

(20～24 歳 男性)

ネット投票を可能にする。1票あたりの重みづけをする。

(25～29 歳 男性)

インターネットを利用とした投票

(25～29 歳 男性)

若い人と年配の人で票の重みを変えないと、若い人の意見が反映されずますます選挙にいかなくなる

(25～29 歳 男性)

自民党に対抗できる、具体的かつ現実的な政策案を持った対抗政党が生まれること。今だと結局投票しても何も変わらない。

(25～29 歳 男性)

義務教育の頃から政治参加に関する教育を受けること

(25～29 歳 男性)

少子高齢化により、高齢者と若年者の母数が大きく異なっている。そのため、同じ1っ票でも、影響力の差が大きくことなっていると思われる。そこで、かく年代の母数に合わせて、1っ票の影響力が均等になるよう、調整するのがよいと私は考える。

(20～24歳 男性)

投票に行くということが当然であるという同調圧力を高めていく

(25～29歳 男性)

死票の活用

(25～29歳 男性)

日本に住む日本人は日本を舵取りする各個人の責任があり無責任な人任せは国民の義務を放棄しているなので義務化する。

(25～29歳 男性)

政治観を語ることにに対する忌避感を無くすべきである。

(20～24歳 男性)

現役世代の票の価値を倍にする

(20～24歳 男性)

選びたくない人以外の相対的にマシな人を選ぶくらいの軽やかな気持ちで行こうと呼びかける

(25～29歳 男性)

生活に関わる問題であるということの周知。政治により私たち一人ひとりの営みが変わるということ意識する、させること。

(25～29歳 男性)

ネット投票もできるようにする SNS や配信アプリの広告などで選挙の周知

(25～29歳 女性)

クソみたいな政治家の一掃、政治の不透明感の改善、日本の未来を考えていないと思われる政策や諸外国への対応。現在の日本の政治家の活動を改めて行かないとムリ。

(25～29歳 男性)

ネット投票投票する事に具体的なメリットを掲げる

(25～29歳 女性)

政治への不信感、若者が参政することの無力感を払拭することが一番重要。

(20～24歳 男性)

老人から選挙権を奪う。若者は 18 からしか投票できないのに、100 才の死にかけの人が投票できるのはおかしい。

(25～29 歳 男性)

若者の票は価値を 2 倍にする

(20～24 歳 男性)

オンライン投票の実施

(20～24 歳 男性)

各界、各層で政治や宗教を気軽に話題にできる雰囲気を作る。芸能界ばかりをとりあげるのではなく、政治家も参加させて親しみを持たせる。日本人は政治意識が、低く、お上に従う習慣が強い。

(25～29 歳 男性)

SNS などを通して、投票することのメリットデメリットの発信、投票所での行動を動画して発信、投票者への特典やクーポンの発行

(20～24 歳 男性)

ネット投票の導入。もしくは時間が取られることを嫌うため、何かの予定の合間にサッと投票できることを周知する。また、投票所が近くにあるということを知らない人が意外と多いため、それを周知すべきかと。

(25～29 歳 男性)

マイナポイント附与

(20～24 歳 男性)

情報がフランクに入ってくる状態に常にする

(25～29 歳)

世代間の 1 票の格差を是正する

(25～29 歳 男性)

若者には、日本の将来への不安が漠然とあるはずである。今の若者が大人になるまでの長期的なビジョンを示すことで、投票意欲が高まると思う。候補者が将来像（例えば、20 歳の大学生が社会の中で指導的立場になるであろう 30 年後）とそれに対する責任を示すことができれば、それは若者の判断材料になると思う。

(25～29 歳 男性)

オンライン投票など

(25～29 歳 男性)

ネット投票の解禁

(25～29歳 男性)

大まかな 不動票とその数が 選挙に与える影響をもっとはっきりと周知する

(25～29歳 男性)

義務にしたら良い

(25～29歳 男性)

若者が行きたいと思わせるようにする人が立候補すればいい。なにか特典等を付ける強制的に行かせるとガーシー容疑者みたいな犯罪者まがいな人を当選させてしまう可能性がある

(20～24歳 男性)

夢かなうと感じる政策、大胆な。

(20～24歳)

義務化

(18～19歳 男性)

インターネットから投票できるようにする

(25～29歳 男性)

参政権についての座学だけではない実践的なアクティブラーニングを教育の中に取り入れる。クラス内、学年、学校行事などに学校の中でも参加できる選挙を行うなど。

(25～29歳 男性)

献血などのように選管がアニメ作品等とコラボレーションを行ったポスターを貼り出す

(20～24歳 男性)

民主主義の根幹に向き合い、民主主義における投票での政治に対する自浄作用を復活させる自分の投票で政治が変わるという認識をもたせられるようにする必要がある

(25～29歳 女性)

『若者は政治に関心がない。』というネガティブな報道が若者の選挙に行く意欲を掻き消していると思う。今の姿勢でいくと若者は「周りが投票してないなら、自分も行かなくていい。周りが政治に興味ないなら、政治の話題は出さないのがベスト。」と考えてしまう。個々で興味を持って調べてる若者が多いにも関わらず、投票に行くかどうかは周りが行かないし面倒臭いからとなってる。だから、『若い人でもこれだけたくさんの方が政治に参加してますよ～』というポジティブな報道をすれば、「じゃあ自分も投票しよう！」となる。

(18～19歳 男性)

年代別人口比率に応じた一票の格差の是正

(25～29歳 女性)

投票のデジタル化

(25～29歳 女性)

中学高校で、政治の授業の割合を増やし投票を呼びかける

(20～24歳 男性)

休日にわざわざ行くのがキツいからよる九時まで投票するか、ネット投票

(25～29歳 男性)

全体的に低いのに世代がどうのは視点も違う

(20～24歳 女性)

若い世代に人気のあるインフルエンサーを起用したキャンペーン。

(25～29歳 男性)

自分たちの手で社会を変えられるんだという手応えを感じられたら投票しようと思うのではないかと思いました。

(25～29歳 男性)

投票行く毎にポイントを付与して何らかの形で使えるようにする

(25～29歳 男性)

リテラシーの高い候補者が明確な方向性と具体的な政策を持って選挙活動をする

(20～24歳 男性)

一人ひとりの行動がより直接的に政治に反映されるような、政党とは異なる活動集団を組織する。運動が大きくなればなるほど行動の実践による変革を実感した個々人は強く関心を持つ。逆にそれに同調しない、平和が脅かされていると感じる層は生活を守るためにより積極的に投票するようになると思う。

(20～24歳 男性)

極論は若者の選挙権の価値を上げる。若者のどうせ選挙に行ったところで...という考えは、高齢者向けの政策がほとんど、若者が選挙に参加したところで、時間と人数が豊富な高齢者に勝てないからである。対策は10代ごとに平等に投票権の価値を分割し、1人あたりの投票権の重みは年代の人数で割った数にするなど。それが国民全員に平等と言えるかはわからないが、若者の価値を尊重するならこのような根本的な改善が必要だと思う。

(20～24歳 男性)

高齢者、富裕層偏重の政策の改善（社会保険料、相続税の不動産の活用による節税とそれに伴う都内不動産価格の高騰）

（25～29歳 男性）

候補者が当選すれば公約は絶対守られるという信頼があれば

（25～29歳 男性）

選挙権保持者は高齢者が多く若者が投票しても意見の反映はされづらいと感じてる人が多い。その考えを変えてくれたり、真の意味で信頼させてくれる候補者が必要

（25～29歳 女性）

若い世代に着目している候補者が増えること、若い世代に特化した対策をもっともっと全面的に出すこと、SNSなどで選挙に興味を引く対策を打つ（インフルエンサーや候補者の動画など）

（20～24歳 女性）

選挙以外のタイミングでも、政策作りから実現まで関わる体験ができれば、選挙に行くことの意味を実感できる人は増えそう。

（25～29歳 男性）

自分たちの生活と政治が直結していることを教育に取り入れる。政治の話題をタブーにしない。

（25～29歳）

利権政治からの脱却

（25～29歳 男性）

投票したいと思わせる

（25～29歳 女性）

SNSで政治家の仕事ぶりや議会運営を上手く発信することにより政治の透明化を実施し、一般市民が政治で起こっていることに対して是々非々を忌避感を感じることなく議論できるようにすること。

（25～29歳 男性）

若者にとってプライオリティの高い政治課題を論点とし、各党や各候補者がそれぞれの見解や公約を明確にする。たとえば今回は神宮外苑の再開発問題がひとつの争点になったが、これは投票が習慣づいていない若者を動かすほどの争点ではなかったと思う。

（25～29歳 男性）

人口からして世間でいう若者の方が数が少ない。政治家も票の獲得に繋がりやすい高齢者に向けた政策を打ち出す。その結果投票したところで自分たちの生活が何か変わらないと感じてわざわざ足を運んで投票に行く意欲がわからないのではないのでしょうか。これ以上得票率をあげたいのであれば、極論ですが一票の格差をあえて生み出したりしないと変わらない気がします。

(25～29 歳 男性)

組織的な動きばかりや、政治家本意な動きがなくなればより意欲が湧く。

(25～29 歳 女性)

若い人には今後の日本・東京の動向が長く影響するのにも関わらず、少子化によりみんなと同じところに票を入れても望み薄である。年齢に対する人口に応じて票の重さを変えるなどみんなの意見が通りやすい方法に変える必要がある

(20～24 歳 女性)

若者の人口比率が増えないことにはどうしようもない

(25～29 歳 男性)

現状誰が何をしようとしてるのかわからない、今年に至っては誰こいつ？ってのが多い若者は SNS ばかりみるとわかっているのにも関わらず SNS に力を入れてない、視聴されるように工夫をした上で実績、公約等を言えば認知されるのにそれをやらない今だにテレビで流して終わりって頭悪すぎる家で地上波のテレビ放送見ませんけどって感じ

(25～29 歳 男性)

投票所をもっとやりやすいところにすべき、働いている中で行きにくいところへ行きたくない

(25～29 歳 女性)

公民権教育

(25～29 歳 男性)

選挙の方法を変える (例えばネットなど)

(20～24 歳 男性)

個人的には現状のままでも投票に行くが、全く政治に関心がない人には、投票をすると何かのポイント (paypay など) が付与される等すれば投票率が上がるのではないのでしょうか。

(25～29 歳 女性)

若者の投票によっての影響度を大きくする

(25～29 歳 男性)

高校や大学に投票所を設け、授業のある日に期日前投票できるようになれば、投票はしやすくなると思う。

(20～24歳 女性)

生まれてくる子供を育てるにあたり、ある程度子供が成長してきたら、まずは、子供が住んでいる区長または市長選挙に関心を持ってもらうようにする。

(25～29歳 男性)

信頼できる政治家がいれば投票意欲は上がるかと思います。

(25～29歳 男性)

ネット投票など、便利な投票方法の導入

(25～29歳 男性)